

**イベント** 吹奏楽公開練習発表会  
& クラッピング体験



青山公民館では、地域芸術向上支援事業の一環として、地域で音楽活動に取り組んでいるグループの技術指導支援を行っています。

その成果の発表を練習風景を公開する形式で行います。

来場いただいた皆さんに、舞台上で指導を受ける様子や、指導前の音と指導後の音の変化や合奏が完成していく様子をご覧ください。

完成した曲を披露するコンサートではなく、完成させていく過程をお楽しみください。

**【とき】**  
7月29日(日)  
午後1時30分～3時

**【ところ】**  
青山ホール(阿保1411-1)  
※事前申し込みの必要はありません。

**《クラッピング体験者募集!!》**

当日は、音楽の基礎となるリズムの指導(クラッピング)を行います。音楽の経験は問いません。参加希望の人は、7月20日(金)までにお申し込みください。  
※応募状況により時間調整をします。

**【問い合わせ】** 青山公民館  
☎ 52-1110 FAX 52-1211

**イベント** 第28回 青山夏まつり

**【とき】**  
7月15日(日)  
午後3時～9時30分

**【ところ】**  
青山ホール前・青山公民館周辺

**【内容】**  
こども積み木広場・ソーラン踊り・和太鼓演奏・盆踊り・花火・各種団体の出店など

**【問い合わせ】**  
青山支所振興課  
☎ 52-1112  
FAX 52-2174



**お知らせ** さくらリサイクルセンター  
臨時休日開場

8月19日(日)は休日開場を実施します。地域や各種団体などの環境美化活動で回収したごみや家庭から出されるごみの持込みを受け付けます。

なお、環境美化ボランティア活動で回収したごみについては減免措置が適用されますので、8月3日(金)までに処理手数料減額(免除)申請書を提出してください。

**【とき】** 8月19日(日)  
午前9時～午後4時30分  
**【申請書提出期限】** 8月3日(金)  
**【申請書提出先】**

さくらリサイクルセンター(清掃事業課)・住民課・市民生活課・各支所住民福祉課・各地区市民センターのいずれかへ提出してください。

**【問い合わせ】** さくらリサイクルセンター(清掃事業課)  
☎ 20-9272 FAX 20-2575

**イベント** 農業ふれあいまつり

**【とき】**  
7月16日(月・祝)  
午前9時～午後3時  
※少雨決行

**【ところ】**  
農業公園ふれあい広場  
(予野11440-2)

**【内容】**  
○地元農畜産物の展示即売  
○地産地消の啓発品などの出展  
○伊賀産菜種油使用のドーナツの販売  
○足湯・手裏剣道場・芸能・餅まきなど

**【問い合わせ】**  
農業ふれあいまつり実行委員会  
☎ 39-1250  
農林振興課  
☎ 43-2302 FAX 43-2305

**「あんしん・防災ねっと」**

災害時の緊急情報・避難所情報や休日・夜間診療所情報などが閲覧できます。また、携帯電話のメールアドレスを登録した人には、市から緊急情報メールを送信します。

☎ <http://www.anshin-bousai.net/iga/>

※携帯電話のバーコードリーダー機能で、QRコードを読み込んで登録できます。



QRコード ▶

**【問い合わせ】** 総合危機管理室  
☎ 22-9640 FAX 24-0444

**お知らせ** これからの観光を  
一緒に考えませんか

「産業」・「歴史・文化」・「自然と健康」・「農林業と食」などの豊かな地域資源を活用した「体験」・「学習」・「交流」による新しい観光のスタイル(ニューツーリズム)の開発や旅行商品の創造、情報発信に積極的に取り組んでいくため、地域の魅力を地域の人々が再発見・再発掘し、地域から発信する着地型観光についての講演会を開催します。

**【とき】** 7月13日(金) 午後7時  
**【ところ】** ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室

**【内容】**  
○講演  
「どんな業種も観光につながる! 地域活性化につながるニューツーリズムとは」

**【講師】**  
(株)JT中部交流文化部地域活性化・地域交流推進課長 後藤 貴康さん  
**【問い合わせ】**  
商工労働観光課  
☎ 43-2309 FAX 43-2311

**お知らせ** お詫びと訂正

広報いが市に掲載した「伊賀市の人口・世帯数」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

**【正しい数値】**  
○平成24年4月30日現在(広報いが市5月15日号掲載)  
人口: 98,639人  
男: 48,000人  
女: 50,639人  
世帯数: 39,652世帯  
○平成24年5月31日現在(広報いが市6月15日号掲載)  
人口: 98,595人  
男: 47,975人  
女: 50,620人  
世帯数: 39,697世帯

**【問い合わせ】**  
情報推進室 ☎ 22-9625

**市内の事業者を探すなら!**

インターネット検索サイトで

**いがパートナーねっと** **検索**

～求人・雇用情報も掲載中～

■問い合わせ 商工労働観光課  
☎ 43-2306

## 募集 産後ママの リフレッシュタイム

日常の子育てから少しはなれて、インストラクターの指導のもとヨガを体験しませんか。出産後の骨盤や腹筋の回復を促し、産後の体型が戻りやすくなります。また育児による腰痛や肩こりなどを軽減し、心身ともにリラックスできるといわれています。ぜひご参加ください。

### 【とき】

7月20日(金)  
午前11時～正午

### 【ところ】

青山保健センター運動施設

### 【対象者】

産後3カ月～約1年くらいまでの母親

### 【内容】

ヨガ

### 【定員】

15人 ※先着順  
※同時に託児も受け付けます。  
(要予約・定員あり)

### 【参加料】

500円(施設入館料)  
※施設を初めて利用する人は、利用講習会を受講してください。詳しくはお問い合わせください。

【持ち物】 室内用運動靴・運動できる服装・飲み物

【申込開始日】 7月5日(休)

### 【申込方法】

電話でお申し込みください。

### 【申込先・問い合わせ】

青山保健センター  
☎ 52-2280 FAX 52-2281

## 募集 福祉レクリエーション 支援セミナー

地域ふれあいサロン・福祉・職場において高齢者や障がい者などの健康づくり、生きがいづくりなどに関わっている人々が一堂に会する機会を設けます。それぞれの立場で役立つ福祉レクリエーションの知識と技術を一緒に学習しましょう。

【とき】 7月22日(日)

午後2時30分～5時30分

【ところ】 ゆめぼりすセンター 2階  
大会議室

### 【内容】

体力増進・介護予防などに役立つ体操・レクリエーションゲームなど

【対象者】 17歳以上で、スポーツ・福祉レクリエーションに関心のある人

【定員】 50人 ※先着順

### 【指導者】

三重県福祉レクリエーション協会  
理事長 稲葉 淑乃さん

【持ち物】 新聞紙(1日分)・筆記用具  
(運動のできる服装で参加)

【申込方法】 郵送・電話・FAXのいずれかでお申し込みください。

### 【申込先・問い合わせ】

〒514-0002

津市島崎町3-1 三重県島崎会館  
内(社)三重県レクリエーション協会

☎ 059-246-9800

FAX 059-246-9801

スポーツ振興課

☎ 47-1284 FAX 47-1290

## 募集 第8回読書感想文コンクール

多くの作品の応募をお待ちしています。

【課題】 自由  
※未発表のもの

### 【応募資格】

市内在住・在勤・在学の人

### 【応募区分】

第1部：高校生・大学生・一般

第2部：中学生

第3部：小学生

### 【応募規定】

○縦書き400字詰め原稿用紙を使用し、応募は1人1点とします。

○原稿枚数は、第1部・第2部は5枚以内、第3部は3枚以内とします。

○題名は原稿の欄外へ記入し、氏名・住所・学校名などは、応募票に記入の上、原稿に添えて提出してください。

○応募原稿は、返却しません。

### 【各賞】

特選・入選の人には、賞状と副賞をお渡しします。

### 【応募方法】

郵送・持参

### 【応募期間】

9月1日(土)～10月3日(水) ※必着

### 【応募先・問い合わせ】

〒518-0873

伊賀市上野丸之内40番地の5

上野図書館

☎ 21-6868 FAX 21-8999



## 明日に 向かって

～差別をなくしていくために～

## 松山にて 一人権政策・男女共同参画課

■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています。

昨年、松山市へ行ったときの事です。

松山といえば松山城が有名な観光スポットですが、私は過去に一度行ったことがあるため、城の近くまでウォーキングだけをして、市内のほかの場所へ行くつもりでした。城のふもとから坂道を登っていき、見晴らしの良いところで眺望を楽しんだ後、引き返そうとしていると、見知らぬ男性が頼んでもいないのに急に城内の説明を始めました。「後で法外なガイド料を要求されたらどうしよう」と不安に思いながらも、あまりの博識ぶりに、結局城の中までいっしょに入って行ってしまいました。話をしてみると、実は、普段は城内で観光ボランティアガイドをされているとのことで、とても案内なしでまわってはわからなかったであろうことをたくさん教えてもらいました。非番にもかかわらず長時間案内いただいたので別れ際に、「せめてお茶でも。」とお礼をしようとしたのですが、「好きで

していることだから、いいですよ。」と去って行かれました。適当に観光して帰路につくつもりだったところを、一人の人との出会いで非常に豊かな旅にしてみました。

便利な世の中になり、機械やカードが多くの役割を果たし、人と言葉をそれほど交わさずともいろいろな用事を済ませることが出来ます。私は、知らない人と言葉を交わすことにわずらわしさを感じ、つついそうといったサービスに頼りがちなのですが、松山での出来事は人との出会いの素晴らしさを再認識させてくれました。

ほかの人の考えや思いにふれることで、人は学んでいくのだと思います。出会いを積み重ねて自分自身を豊かにしていきたい、また逆に自分も誰かの人生をちょっとでも豊かにするお手伝いできれば、そんなことを思いました。